

NUBIC知的財産情報開示

開示日： 2013年11月08日

各位

NUBIC知的財産情報の要約をお届けいたします。
尚、NUBICベンチャークラブ特別会員、一般会員にはすでにお知らせしています。

	NUBIC管理番号: <input type="text" value="2012000020"/> 整理番号 <input type="text" value="11707"/> 担当者 <input type="text" value="井上 典之"/>
表 題	他産業再生資材(スラグ骨材)のブロック系舗装用目地・下地材としての利活用について
技術分野	<input type="text" value="土木・建築"/>
適用製品	ブロック舗装、ILB舗装、自然石舗装などの目地・下地材として
目 的	本技術は、スラグ骨材の特性を活かして、目地・下地材に砂またはアスファルト混合砂、空練モルタル等を用いたブロック系舗装、平版舗装の高品質化及び低コスト化(約60%分のアスファルトを節約)を実現するものであり、舗装の供用性改善とともに資源の有効利用に寄与する。
技術概要	<p>現在、ブロック舗装用の目地・下地材には一般にケイ砂や空練モルタルが多く用いられている。しかしながら、ケイ砂の雨水等による洗堀やモルタルの連鎖的な疲労・ひび割れ破壊が指摘されており、近年では砂にアスファルトやアスファルト乳剤を混合した材料(以下、アス砂)等の利用が提案され、利用されている。</p> <p>本発明は、アス砂の母材として、天然砂に比べて比重が大きく、吸水率が小さいスラグ骨材(例えば、都市ごみ・下水汚泥等溶融固化物、非鉄金属スラグなど)の利活用を提案する。これは、スラグ骨材の資源としての有効利用を促進するだけでなく、その特性(高比重、低吸水)を活かすことで、雨水等による洗堀抑止や、少量のアスファルトによる混合・被膜を可能とする。また、本技術によって高性能かつ経済的な目地・下地材を提供するとともに、アス砂としての品質管理方法を併せて提案する。</p>

技術移転等をご希望の場合は、下記事項をご記入の上、本用紙にてお申込みください。

(FAX, e-mail, 郵送いずれでも可。)

各担当コーディネーターからご連絡を差し上げます。

面談希望日時	<input type="text"/>		
(ふりがな) 氏 名	<input type="text"/>		
会社名	<input type="text"/>		
所 属	役職 <input type="text"/>		
電話番号	<input type="text"/>	FAX番号	<input type="text"/>
E-mail	<input type="text"/>		
連絡事項	<input type="text"/>		



【申込み・問い合わせ先】

日本大学産官学連携知財センター(NUBIC)

〒102-8275 東京都千代田区九段南4-8-24 日本大学会館

TEL:03-5275-8139 FAX:03-5275-8328 E-mail:nubic@nihon-u.ac.jp